

記者各位

—メディアセミナーのご案内—

「ゲノム編集技術で品種改良された作物の表示について

～社会的検証はどこまで可能なのか～」

【セミナー趣旨】

ゲノム編集技術で品種改良された高 GABA トマトの「苗の無料配布」がいよいよ今春から始まります。サナテックシード社の苗の無料配布に対して、すでに 5000 人を超える応募があり、高い人気を集めていますが、その一方、ゲノム編集食品に対して「表示をすべきだ」との声が消費者から強く出ています。

科学的には従来の品種改良と変わらないため、国による表示の義務付けはありませんが、種子から販売までのトレーサビリティの観点から、表示は可能との声もあります。そこで、本セミナーでは、種子から生産・販売までのプロセスをたどりながら、表示の社会的な検証がどこまで可能かを議論します。実際に農産物の物流に関わる企業、消費者団体、表示の専門家をパネリストに迎え、ゲノム編集作物・食品の情報提供の在り方についても、様々な論点から議論します。

《セミナーの概要》

主催： ゲノム編集育種を考えるネットワーク

共催： 日本種苗協会、（一財）バイオインダストリー協会、バイオテック情報普及会

対象： 主にメディア（一般の人参加可能）

日時： 2021 年 3 月 25 日 13：30～15：15

場所： Zoom によるオンライン開催（参加無料）。

《プログラム》

13：30 司会進行（蒲生恵美・消費生活アドバイザー）

13：35 講演「種子会社は種をどのように品種改良・生産・販売しているのか」

（講師は福田豊治・日本種苗協会専務理事）

14：05 解説「野菜の流通管理の基本」（岩井弘光・シジシージャパン品質保証室長）

14：15 パネルディスカッション

パネリスト 立川雅司・名古屋大学教授

浦郷由季・全国消費者団体連絡会事務局長

岩井弘光・シジシージャパン品質保証室長

福田豊治・日本種苗協会専務理事

15：00 質疑

■セミナーの申し込みは、日本種苗協会（電話 03・3811・2654、担当：林淑子）までメール（下記）をお願いします。

メール送信先：seed@jasta.or.jp

※注意事項

- ・質問は、リアクション機能の「手を挙げる」をお願いします。進行役の蒲生さんから指名された方は、カメラとマイクをオンにして、名前と所属を言ってから質問を行ってください。
- ・質問が多い場合は 15：30 まで延長します。
- ・延長しても答えきれない場合は、アンケートの質問事項に書いていただき、後日メールで回答します。
- ・なお講師・パネリストは東京都新宿区のコモレ四谷タワーコンファレンスに集まり、配信します。